

前立腺生検を受けられる方へ

*** 麻酔方法は麻酔科医の判断となります**

月日（日時） 経過（病日等）	検査当日（検査前）			検査当日（検査後）			検査後1日目・退院		
	- 安心して検査に臨めるように、検査の目的・内容を理解しましょう。 - 必要物品を準備しましょう。			- 検査後の排尿の状態を確認しましょう。 - 検査後、血尿が続く場合や血便があった場合はお知らせください。 - 検査後、痛みや発熱がある場合はお知らせください。			- 排尿の状態（出具合、痛み）に異常がないか確認しましょう。 - 尿の性状（色）を確認しましょう。 - 血尿が続く場合や血便があった場合はお知らせください。 - 退院後の生活について理解しましょう。 - 退院後の症状悪化時の対処方法を理解しましょう。		
点滴	点滴はありません。			手術室にて点滴が始まります。					
薬	- 現在内服している薬を確認します。 口中止の薬があります。（ ） - 朝の内服 □上記以外を、朝7時まで少量の水でお飲みください。 - 入院後に抗生剤の内服薬を少量の水で内服します。			普段内服していた薬が再開となる予定です。看護師が説明いたします。 			- 中止薬以外、普段通りにお飲みください。 - 中止していた血液をさらさらにする薬などの内服薬は、医師の指示より再開日をお伝えします。 		
検査	必要に応じて、採血検査・尿検査があります。								
処置	- 呼び出しがありましたら手術着に着替えて、弾性ストッキングをはきます。 - 歩ける方は歩いて手術室に行きます。			必要に応じて酸素吸入を行ないます。					
活動 安静度	制限はありません。			手術室からベッドで病室に戻ります。 【全身麻酔の場合】 - 検査後2時間はベッド上安静になります。 - 検査後、最初の歩行時は必ず看護師が付き添います。 - 検査後2時間以降も、検査当日はトイレに歩く以外はベッド上安静になります。 【腰椎麻酔の場合】 - 検査後6時間ベッド上安静になり、足に血栓予防のためにフットポンプ（ふくらはぎのマッサージ器）がつけます。 - 検査後、最初の歩行時は必ず看護師が付き添います。 - 検査後6時間以降も、検査当日はトイレに歩く以外はベッド上安静になります。			制限はありません。		
食事	- 食事療法をされている方、アレルギーがある方はお知らせください。 - 朝7時まで軽めの朝食のみ摂取可能です。 7時以降は食事をしないでください。 10時まで飲水可能です。 - 入院後は検査までは飲んだり食べたりできません。			【全身麻酔の場合】 - 検査後2時間から飲水のみ開始になります。 - 夕食はありません。 【腰椎麻酔の場合】 - 検査後6時間から飲水のみ開始になります。 - 夕食はありません。 			朝から食事が開始となります。 		
清潔				入浴やシャワー浴はできません。			点滴が終了し、点滴の針が抜けていればシャワー浴ができます。		
排泄	検査の準備に呼ばれたらトイレを済ませてください。			- 検査後安静時はベッド上での排泄となりますので、ナースコールでお知らせください。 【全身麻酔の場合】 - 検査後、最初の尿の状態を看護師が確認しますのでお知らせください。 【腰椎麻酔の場合】 - 尿の管が挿入された状態で帰室します。			【全身麻酔の場合】 尿、便を観察しましょう。 【腰椎麻酔の場合】 朝、尿の管は医師の指示で抜きます。 尿、便を観察しましょう。 		
説明 生活指導	- 入院生活について説明いたします。 - 手首にリストバンドをつけます。 - お薬手帳をお持ちください。 - 検査の一連の流れについて説明し、同意書を確認いたします。 - 検査に必要な物品を確認します。 - 売店で【入院備品セットD】（オムツ・パッド）を1セットご購入ください。 - 入院後、薬剤師より現在内服している薬を確認します。 - 身につけている金属類などをはずして準備をしてください。（眼鏡・コンタクトレンズ・指輪・ネックレス・ピアス・時計・義歯・かつら・湿布） - 診察カードをお預かりします。			- 血尿、血便、痛み、頭痛、吐き気／嘔吐などが出現する可能性があります。尿が出にくい場合、痛みが半う場合、血液の混ざった便が出た場合には速やかに看護師へお知らせください。 - 腰椎麻酔の場合、離床直後に頭痛、吐き気／嘔吐が出現する可能性があります。その場合はベッドで安静にし、速やかに看護師へお知らせください。 - 尿の管が入っている場合、尿の管の違和感・腹部の不快感などがある場合はお知らせください。			- 次回外来にて生検の結果をお伝えします。退院時に次回外来日について説明いたします。 - 前立腺生検部の圧迫（出血・違和感の増強）を避けるため、退院後1週間程度は自転車は禁止、長時間のバイクも控えてください。 - アルコールは出血を助長するので、一週間程度は控えてください。 - もしも退院後に、血尿が強い場合（トマトジュース様）や肛門から多量に血のかたまりが出た場合、38.5度以上の高熱が出たりあるいは37度以上の熱が持続している場合は、外来へ電話にてご相談ください。 - 検査を受けるにあたって、血液をさらさらにする薬など内服薬を一時中止している方は、医師の指示により内服を再開してください。		

※入院期間については現時点で予測される期間です。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。